



三小だより

武蔵村山市立第三小学校 令和6年 4月号 4月8日発行

教育目標

- よく考える子
- ◎ なかよくする子
- 元気で明るい子
- カいっばいがんばる子

よいまちはよい学校を育て、よい学校はよいまちを創る

校長 佐々木 琢

保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学、御進級おめでとうございます。

今年度も地域や保護者の皆様に御理解と御協力を賜りつつ、教職員一同がチーム学校で子供の育ちに寄り添いながら教育活動を進めてまいります。

子供たちが健やかに育つために大切なことの第一は、教育環境であると考えます。学校教育においては、その最大の教育環境は教師となります。学校では、教師の教え方、関わり方が子供の育ちに最も大きな影響があるからです。

しかし、教師の努力は必須ですが、それだけでは子供の環境の全てを整えることはできません。

そこで、保護者の皆様、地域の皆様の支えが必要になります。

子供の環境を豊かにするためには、まず、保護者の皆様に、我が子だけでなく、我が子を取り巻く子供たちのサポーターになっていただきたいです。

我が子を応援しサポートするだけでは、人と人との関わり方やちょうどよい距離の取り方など、人間関係の基盤づくりをする大切な時期を、適切に支えきれないことがあるからです。

また、地域の皆様におかれましては、これまで通り、「学校づくり」の当事者、もしくはサポーターであり続けていただきたい

と考えています。

有難いことに第三小学校の子供たちを取り巻く環境は、PTAのみならず、「学校運営協議会、青少対、グリーンサポーター、チーム丘の上など、様々な支えの存在があります。

その地域の支えは、間違いなく子供の育ちに大きく貢献しています。

よい学校づくりには、こうした様々な大人のチームの結束力があってこそ充実すると考えます。

具体的には、保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御協力があってこそ「まちづくり学習」や「ゼロカーボンシティを目指した教育活動」の推進を進めることができます。そして、子供たちのその学びが、未来の地域のチーム力を強めるための基盤となると考えています。

「よいまちはよい学校を育て、よい学校はよいまちを創る」。まちの温かさに触れた学校は、確実に子供が成長できるよい学び舎になります。そして、その学び舎で育った子供たちは、確実に未来のまちの担い手に育ち、よいまちを創る人材となっていくと確信しています。まさにそれは、「人と人の絆で未来を拓く」ことになります。

今年度も、さらなる教育活動の充実のために、保護者の皆様、地域の皆様には、これまで通り、温かい支えをどうぞよろしくお願いいたします。



イオンモールでのフリーマーケット



地震の被災地への義援金活動



避難所開設に向けて